

## 立川市学校給食共同調理場から提供した給食に起因する 集団食中毒について

立川市学校給食共同調理場から提供した給食に起因する集団食中毒により、立川市立小学校 7 校の児童、教職員が嘔吐、腹痛等の症状を発症いたしました。2 月 24 日（金）までの状況及び今後の対応等については次のとおりとなります。

### 1 事案覚知

2 月 17 日（金）・午後 4 時 25 分に第九小学校の給食主任の教員より 5・6 時限目に児童 6 人、教員 1 人に嘔吐、腹痛等の症状があったとの報告が学校給食課にありました。

このことを受け、第九小学校と同じ B ブロックの小学校 6 校に現況を確認しましたが、第九小学校以外の 2 校で 1～3 名が同様の症状を発症しているとの報告がありました。このことを多摩立川保健所へ連絡しましたが、同一校で 10 人以上の発症がなければ報告の必要はないとのことでした。

同日、午後 11 時過ぎに学校給食課の嘱託栄養士から小学校の保護者からの情報として、嘔吐、腹痛等の症状を訴える児童 28 人が市外の病院で受診しているとの連絡が学校給食課給食係長に入りました。また、市内、市外の病院で 20 人ほどが同様の症状で受診しているとの情報が多摩立川保健所からありました。

### 2 多摩立川保健所の検査・調査

市内複数校の児童が発症していることから、多摩立川保健所は学校給食が原因の食中毒の可能性があるとし、2 月 18 日（土）・午前 5 時 45 分から 7 時まで、保健所の職員 2 名が学校給食共同調理場内の検査を実施しました。また、2 月 16 日（木）、17 日（金）の 2 日分の給食検体を検査するため、食材等を採取しました。その他、現在まで実施している検査、調査は次のとおりです。

#### 1) 食材、給食に関する検査

- ・食材検査（原材料）
- ・保存食検査（2 月 16 日（木）、17 日（金）A、B グループ 計 51 検体）

#### 2) 学校給食共同調理場に関する検査

- ・拭き取り調査（B ブロック調理工程の調査 34 検体）

#### 3) 調理従事者等に関する検査・調査

- ・検便検査（調理員 85 人、市栄養士 5 人）
- ・調理工程に関する聞き取り調査（B ブロック）

#### 4) 症状が発症した児童、教職員に関する検査

- ・検便検査（200 検体予定）

5) 小学校7校の児童への調査

- ・「中毒調査用紙」による調査（児童全数調査）

3 食中毒の原因

2月24日（金）東京都福祉保健局記者会見資料より抜粋。

多摩立川保健所は、本日（2月24日）に、下記の理由により、本件を当該施設が調理・提供した給食を原因とする食中毒と断定した。

- ・患者の共通食は、当該施設で調理・提供した給食の他にはない。
- ・複数の患者のふん便からノロウイルスを検出し、患者の症状が同ウイルスによるものと一致していた。
- ・患者が通学又は通勤する小学校において、感染症を疑う情報がない。
- ・本日、患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

4 症状が出ている児童の在籍小学校と発症者数

嘔吐等の症状が発生している児童は、第九小学校、第十小学校、けやき台小学校、南砂小学校、若葉小学校、松中小学校、新生小学校の7校となります。この7校は学校給食共同調理場のBブロックの小学校となります。

なお、学校給食共同調理場から給食を提供している13校のうちBブロック7校については、小学校から保護者へ同様の症状が出ている場合は在籍の小学校へ連絡を入れるよう依頼し、症状が出ている児童等の全体状況の把握をすすめました。

Bブロック7校の2月24日（金）・12時時点の欠席者数、嘔吐等の症状があらわれた人数の累計は次のとおりです。なお、Aブロック6校からは発症の報告はございません。

【欠席者の状況】 2月24日（金）・12時時点

学校名	全児童数	欠席児童数	うち嘔吐等による欠席者数	欠席教員数	うち嘔吐等による欠席者数
第九小	531人	22人	9人	0人	0人
第十小	335人	15人	4人	1人	0人
けやき台小	494人	12人	1人	0人	0人
南砂小	332人	8人	3人	1人	0人
若葉小	243人	11人	1人	1人	0人
松中小	412人	13人	1人	0人	0人
新生小	472人	29人	3人	1人	1人
合計	2,819人	110人	22人	3人	1人

【発症者数累計】 2月18日（土）～24日（金）

区分	18日（土）	19日（日）	20日（月）	21日（火）	22日（水）
	17時	16時30分	12時	12時	12時
児童	788人	874人	918人	970人	992人
教職員	47人	69人	74人	77人	78人
合計	835人	943人	992人	1,047人	1,070人

区分	23日（木）	24日（金）
	12時	12時
児童	1,009人	1,019人
教職員	79人	79人
合計	1,088人	1,098人

\*発症者数は累計の数字であり、回復傾向にある者、今回の事案に起因しない病気等で同様の症状を訴えている者も含まれています。

【入院者数】

入院した児童の症状は、激しい嘔吐、脱水症状等となります。入院した児童数は計9人ですが、2月22日（水）までに全員が退院いたしました。

なお、入院先の医療機関は太陽こども病院（2人）、南多摩病院（1人）、災害医療センター（1人）、共済立川病院（3人）、武蔵村山病院（2人）です。

5 児童への対応

各学校では児童の体調を毎朝確認し、体調がすぐれない場合は適切な対応を行います。また、心理面でのケアも必要となるため、スクールカウンセラー等を活用し、児童の「こころのケア」を実施いたします。

指導課では指導主事を該当校へ派遣するなど、学校への支援を実施しています。

6 給食提供停止について

当初は学校給食共同調理場からの給食提供は2月20日（月）から24日（金）まで5日間停止することとし、保護者へは弁当を持参するよう学校を通じて連絡いたしました。

また、東京都の決定が未定のため、2月23日（木）には給食提供停止を3月3日（金）まで延長することといたしました。その後、2月24日（金）に東京都の決定及び措置が出されましたので、児童の安全を最優先に考え、給食提供停止期間を3月いっぱいとするを同日決定しました。

## 7 再発防止策

学校給食共同調理場からの学校給食提供を中止している間に、学識経験者や専門家による「学校給食共同調理場における食中毒再発防止対策検討委員会」を設置し、学校給食共同調理場からの給食提供の再開に向けて、具体的な安全対策を検討し、二度とこのような事態が起こらないよう再発防止策を徹底してまいります。

## 8 休校措置

児童の発症者数や回復状況、教員の態勢等を総合的に判断して2月20日（月）は次の取り扱いといたしました。

【授業実施】：第十小学校、若葉小学校、松中小学校（3校）

【休校措置】：第九小学校、けやき台小学校、南砂小学校、新生小学校（4校）

なお、休校する4校の児童が利用している学童保育所は、2月20日（月）朝から開所しました。

2月21日（火）以降は休校措置を取った学校はありません。7校ともに授業を実施しています。

## 9 欠席の取り扱い

休校措置及び嘔吐等の症状により欠席した場合「出席停止」の取り扱いとします。

## 10 衛生面での対応

2月20日（月）に全小中学校に手洗いの徹底、ドアノブ等の消毒実施、適切汚物処理に関する通知を発出するとともに、2月22日（水）に臨時校長会を開催し徹底を図る様再度指示いたしました。

また、保護者向けにも同様の通知を小中学校から発出し、家庭内においても衛生面での適切な対応を図っていただくようお願いしました。

消毒に必要な消毒液、マスク、手袋、ぞうきんについては適宜学校へ配送します。

## 11 医療費給付

嘔吐等の症状により医療機関での受診や入院への対応につきましては、市が加入している「日本スポーツ振興センター」の災害共済給付制度により医療費等の給付を行う予定です。この給付制度の案内及び手続については後日学校へ送付いたします。